

# 布引だより



令和3年5月7日

No. 2

～一人ひとりがキラリと輝く布引の子～

<http://www2.higashiomi.ed.jp/nunosyo/>

## 令和3年度 布引小学校 学校目標（アクションプラン）

心躍らせて 学び 励む子  
～一人ひとりがキラリと輝く布引の子～

始業式から4週間が過ぎ、学校生活が本格的に始まっています。朝は、校門で子どもたちに挨拶をしながら、一人ひとりの「元気度」を確認しています。半数以上の子どもが朝はしんどそうにしている姿を見ると、子どもたちも新しい環境に慣れようと一生懸命頑張っているのだと感じます。

さて、今年度も、学校を「進化」させていくための「学校目標（アクションプラン）」を作りました。アクションプランには、学校目標を達成するために何ができるかを書いています。

学校目標副題の、「一人ひとりが・・・」は正面玄関横の石碑に刻まれている元大蔵大臣武村氏の言葉です。始業式の時に子どもたちには説明しましたが、「一人ひとり・・・」というのは、子どもたち全員のことと考えています。子どもたち全員がどんな楽しいことがあるか、わくわくしながら学校へ来ることが目標です。昨年度、学校のアンケートで「学校が楽しい」と答えた児童は90%でした。今年度は95%を目標にします。

子どもたちには、これは学校の目標なので、先生たちとみんなが力を合わせて達成するものと話しました。そして、達成するための2つの方法として、①毎日、一つは学校で楽しかったことを見つけること。②困っていたり悲しんだりしている友だちがいたら進んで助けること、と伝えました。何気ない日常生活の中に自分なりの楽しさを見つけられる力は、これからの長い人生の中で重要な力だと考えています。

学校での主な取組（アクション）は次のとおりです。

### ○ 子どもがわくわくする授業づくり

運動会など、行事も楽しいですが、やはり日々の学習の中に楽しさを見つけてほしいと思います。教員で行う授業研究会は、「学習中、子どもにこんな姿を見せてほしい」「こんな姿が見られたら授業として成功、子どもがわくわくしていると言える」というように子どもの姿に焦点を当て進めていき、わくわくする授業を目指します。

### ○ 学級活動の充実

学級会や係活動、委員会活動など子どもたち自身で話し合い、決定する機会を多く設けることで、自治的な集団となり、善悪の判断を自分たちで判断し、学級の協働体制を構築できると考えます。学活の授業参観も行います。

### ○ 読書の習慣化

引き続き、朝の読書タイムを行います。すでに始まっており、10分間は読書に集中しています。

そのほかに・・・

- 挨拶の通い合う学校
- 異年齢間での学び
- 生命や人権を尊重する学習の推進
- きれいが実感できる清掃活動
- 早寝早起き朝ごはんの推進
- ノーテレビノーゲームデーの継続 など

これらの取組は、ご家庭の協力をいただければじめて達成できるものもあります。子どもたちを健やかに育てていくために変わらぬご協力をよろしくお願いいたします。

## GW がスタートします

いよいよ、ゴールデンウィークです。子どもたちには、遊びでも学習でも普段できない経験をたくさんしてほしいと願っています。しかし、未だ新型コロナウイルスが猛威を振るっています。インド株という新たな株も日本で発見されたそうです。コロナウイルス以外にも、危険やトラブルに巻き込まれよう気をつけていただけたらと思います。

### ◎新型コロナウイルス感染症にかかわって

十分気をつけていても感染してしまうこともあります。以下のことに気を配れば、感染リスクは減ります。

- ・手洗いの励行、マスクの着用、3つの密（密閉・密集・密接）回避
- ・マスクなしの会話（特に飲食の場面）、大人数や長時間に及ぶ飲食、家族や普段一緒にいる人以外との会食を避ける。
- ・緊急事態宣言対象地域をはじめとする感染拡大地域への往来は、真に必要な場合を除き避ける。
- ・混雑する場所や時間を避ける。
- ・毎日の健康状態を把握（体温測定を含む）する。
- ・発熱、のどの痛み、頭痛、体のだるさがある場合には無理をせず、外出を控える。
- ・同居の家族に同様の症状がある場合も自身の体調に十分注意し、無理をしない。

### ◎安全にかかわって

○「不審者」と思ったら、すぐに110番。

まずは110番に連絡してください。すぐに対処していただきます。学校や教育委員会では職務質問や捕まえることはできません。

- ・「いかのおすし」・・・知らない人について **い**かない。知らない人の車に **の**らない。「助けて」と **お**おきい声を出す。大人のいる方へ **す**ぐ逃げる。どんな人が何をしたか家の人に **し**らせる。

○自転車の交通ルールを守る

近年、自転車側が加害者となる事故が増えています。自分も周りにも安全に十分注意してほしいものです。

- ・ヘルメット着用します。
- ・「スマホを見ながら」や「イヤホンで音楽を聞きながら」の「ながら運転」は絶対ダメ。

